

## 就労継続支援B型事業所 すずかけ

### 1 基本方針

地域で暮らす障がいのある方が、社会の一員として生きがいを持ち自立した日常生活を営むことができるよう、一人ひとりの障がいの状況に応じた生産活動の提供と個別支援を行う。

また、事業所内外の活動を通じて、利用者の労働意欲の向上を図るとともに、作業環境を整えより高い工賃が支給できるよう努める。

### 2 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

#### （1）入所者状況

（人）

利用人数		前年度末利用者数	令和5年度中の入退所状況										利用延人員	定員に対する年間平均稼働率	年度末利用者数
			入所人員	退所人員	退所理由別						他				
					地域移行		家庭復帰	施設移管	死亡	就職		サービス変更			
区分	定員	GH	アパート等												
継続B型	38	35	5	5	0	0	1	2	0	0	0	2	6,182	67.3%	35
4年度 継続B型	38	37	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	6,456	69.9%	35

#### （2）障害支援区分

##### 就労継続支援B型

（人）

性別	障害支援区分							計
	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	7	1	5	3	6	1	0	23
女性	3	0	1	3	2	3	0	12
計	10	1	6	6	8	4	0	35

### 3 事業の実施状況

#### （1）商品開発、販路拡大等による収入増と工賃の向上

令和5年度平均工賃月額 目標 17,000円 → 実績 23,028円

ア 印刷関連事業については、イベントの再開や昨年度より行なってきた営業成果もあり、県内各部署の行政やガイナール等から大口注文を頂くなど売上順調であった。

課題としては、新たに印刷に携われる利用者確保が難しいこと、またプリンター保守終了に伴う機材のメンテナンス問題もあり、今後印刷作業の継続については検討を要する。

イ HACCP(食品を製造する際に工程上の危険を起こす要因を分析し安全を確保する管理手法)の考え方を取り入れた衛生管理については、専門職員に相談頂き、道具管理や記録用紙の必要事項について修正を図り、計画に基づいた商品の安心安全に努めた。

商品の信頼性を高め、県外への発信も積極的に行うことで、「斬切あかもく」として5社との新規契約となった。

ウ 受託作業については、利用者の特性に合わせて治具の改良を行い作業効率の向上に努めると共に、アセスメントに沿った見極めを行いながら適正を活かした作業種提供の供を行った。

エ 鳥取県就労事業振興センターと連携を図り、年間を通じ外部注文販売の機会について斡旋を受けると共に、ネット販売への参入を試みた。

#### （2）障がい特性に合わせた支援と職能評価

ア 自閉症等の障がい特性に配慮し、限られたスペースではあるが構造化を図り、落ち着いて働ける作業環境やスケジュール提示など整備に努めた。

イ 利用者の職能評価は3ヶ月毎に実施し、客観的な評価をして作業班の中で本人へフィードバックし作業意欲や能力の伸張に繋がるように働きかけた。

また、個別支援計画時のアセスメントと職能評価がリンクしていないものもあり見直しを図った。

ウ 個別支援計画作成時、本人、保護者から要望を聞き取り、作業状況を確認し作業内容の見直しや本人の希望に即してステップアップできるように計画の見直しを行った。

(3) 地域に密着した農福連携と地産地消

ア 「道の駅西いなば気楽里」「おもしろ市」「わったいな」「道の駅かわはら」「ごきげんマルシェ」で加工食品を販売した。また、地域イベントには積極的に参加を行ない商品のPR発信に努めた。

イ 海産物については、酒津や網代漁協より順調に仕入れが行えた。また、大根についても生産者より安定した仕入れの確保と、地元食材による切干大根は保育園や法人厨房からも年間を通じて順調に注文を頂いている。

ドライフルーツ用の果物については、天候のよる影響もあり規格外の買取が安定しなかった。

(4) 利用者の安定確保

ア 利用者ニーズに応えるため体験支援体制や作業提供体制を整え、利用や体験を前提とした在宅の障がい者6名の見学受け入れを行い、5名の新規契約に繋がった。

しかし、精神障がい者の不安定な出勤や、GH入居者の高齢化による入院や施設移管が進み退所者も5名あり、目標稼働率を達成できなかった。

年々に高齢化が進み、介護が必要な方、65才以上の利用者も多く利用されていることから若年層の利用者の確保が課題である。

イ 白兔養護学校からの職場体験実習生を4名受け入れた。2年生時から継続した実習を受け入れ支援体制を整えることで、1名が卒業後の利用に繋げることが出来た。また、PTA進路部の所内見学についても依頼を受け実施した。

稼働率：目標85% 実績67.3%

(5) 地域福祉への貢献

ア 地元小学校や中学校の見学や体験依頼はなかった。「鳥取市西地域つながる会」に参加し保健師等から情報を収集しているが、見学や体験実習には繋がらなかった。

イ 勝谷公民館活動のコスモス植ええや、おもしろ市の清掃活動に参加するなど、地域の環境美化に協力を行った。

ウ 地域における生活困窮者支援の充実を図るために他機関との連携や協働ができず、支援体制の構築に努めることができなかった。(就労体験場所の提供)

#### 4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
鳥取県新規採用職員体験研修	11月	2人	4人
計		2人	4人

(2) ボランティアの受入実績

鳥取東高等学校ボランティア (延3人)

#### 5 就労支援事業の実績

作業班	5年度目標額	実績額 (前年度実績額)	達成率	作業の内容
園芸作業班	600,000円	600,000円 (565,000円)	100.0%	園芸作業の受託
清掃作業班	1,279,000円	1,293,317円 (1,290,571円)	101.1%	公共庁舎等の清掃作業
部品組立班	1,090,000円	750,326円 (975,392円)	68.8%	弱電機器部品の組立作業等の受託
自主製品班	10,744,000円	13,935,318円 (10,936,009円)	129.7%	海産物加工、印刷製品等作成販売
計	13,713,000円	16,578,961円 (13,766,972円)	120.9%	